



いのうええんりょう
井上円了
(1858年～1919年)

1858（安政5）年、現在の新潟県長岡市の慈光寺の長男として生まれる。少年期より漢学・洋学を学び、設立直後の東京大学文学部哲学科に進学し、「諸学の基礎は哲学にあり」と確信。哲学科最初の学生として大学を首席卒業した2年後の1887（明治20）年、東洋大学の前身となる「私立哲学館」を創立。著作と学校教育・社会教育による哲学の普及に尽力し、各地で講演を行う。1919（大正8）年、中国大連での講演中に倒れ、61才で逝去。

■東洋大学井上円了研究センター

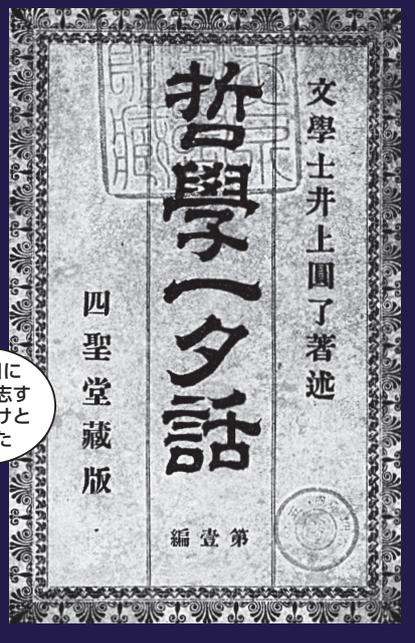
2014（平成26）年5月に井上円了記念学術センターの改組によって設立された教学組織です。創立者・井上円了の建学の精神・教育理念・思想及び事績の研究ならびに東洋大学史等に関する研究を推進し、それらの普及を図るため、さまざまな研究と事業を展開しています。

〒112-8606
東京都文京区白山5-28-20
東洋大学白山キャンパス
8号館2階



青年期の西田幾多郎が進路に迷ったとき、哲学の道に入るきっかけになった本がありました。それは、現在の東洋大学の起源である「私立哲学館」を設立した井上円了の『哲学一夕話』でした。「洋の東西を問わず、真理は哲学にあり」として哲学専修の私立学校を設立した円了、西洋の哲学を吸収した上で独自の『西田哲学』を打ち立てた幾多郎。今回のイベントは、明治維新後の日本で哲学を広めた二人に焦点を当てる、生誕の地・ゆかりの地交流事業です。

井上円了と西田幾多郎



出典：国立国会図書館ウェブサイト



東洋大学 井上円了記念博物館

創立者・井上円了が唱えた建学の精神を学内外に広くアピールすることなどを目的として、2005年4月に井上記念館内に設置されました。井上円了関連資料のほか、東洋大学の歴史にかかわるさまざまな資料を展示しています。

〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20
東洋大学白山キャンパス5号館1階
【開館時間】月～金曜日／9時30分～16時45分
土曜日／9時30分～12時45分
【休館日】日曜、祝日、年末年始、その他大学の定める休業日
【入館料】無料
※新型コロナウイルス感染症対策のため、ご見学いただけない場合があります。

●石川県西田幾多郎記念哲学館

●東洋大学

<FAXで講演会にお申込みの場合は、下記項目をご記入の上076-283-6320まで送信ください。>

フリガナ お名前	
ご住所	〒 -
TEL(携帯可)	

※個人情報は、当イベントに関する目的以外には使用しません。